



発行所 愛知県山岳連盟
発行人 安藤武典
編集人 中平等 新一
名古屋市天白区中平3-1902
TEL&FAX 052-802-8062

◆4月14日(土) 愛知県山岳連盟定時総会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

自然觀察會 & 清掃登山



て報告した。全国30の都府県の自然保護担当者や日山協の役員、地元石川県の山岳協会の方々ら総勢約100名が参加した盛大な会で、今後の愛知県の自然保護活動について考えさせられる会であった。

続いて11月12日に犬山市の八ヶ岳自然休養林で行われた第40回の自然観察会と清掃登山について報告をした。当日は83名の団体38名が参加。ゴミ袋を手に、八ヶ岳養林の自然観察を3時間半にわたって行つた。その後、昼食を兼ねた親睦会では、鍋あり焼肉ありで、最後は山の歌を熱唱するという楽しい会であった。

次に、審議事項として、平成30年度の春・秋の自然保護活動について話し合った。春の活動は、5月の12～13日に岐阜県高山市の国立乗鞍青少年

愛知岳連自然保護委員総会が、2月20日県スポーツ会館に於いて行われた。当日は、安藤会長をはじめ、22名の自然保護指導員のうち14名が出席。安藤会長より挨拶をいたいた後、報告事項として昨年9月9日(10日に石川県白山市で行われた自然保護委員全国大会について報告)。全国の都府県

自然保護活動報告や事業計画など

愛知岳連自然保護委員總会開く

年交流の家周辺で山菜を収穫した後、山菜の觀察・調理を行い、親睦会で山菜をいただくこと。また、自然保護活動に情熱を傾けてみえる岐阜県出身の小野木三郎先生を迎えて、「飛騨の自然と自然保護について」をテーマにした講演と、「現地周辺の自然觀察会」を予定している計画を提案し承認された。

秋の活動は9月29日に瀬戸市「あいち海上の森センター」で、講師に木村修司先生を迎えて、海上の森を散策しながら「キノコの現地観察会」を実施する計画を提案し、こちらも承認された。

昨年度は、自然保護指導員23名のうち11名が5年ごとの更新年にあたっており、人数の減少が心配されたが、高齢の2名は辞退されたものの9名が更新。さらに1名の新規加入者があり、30年度は22名でのスタートとなつた。

今後は、愛知岳連の加盟団体から1名ずつの自然保護委員を選出していただき、更に裾野を広げていきたいという思いを参加者全員で確認し合つて閉会した。

(栗木
洋明)

平成29年度読図講習会

コンパス技術の基礎を学ぶ！

愛知岳連主催の読図講習会が、去る11月11日(土)名古屋市緑区「大高緑地公園」で行い、受講生19人、講師5人、役員1人の計25人が参加し、午前9時から始められた。最初に全員で記念写真を撮り、講師から本日の講習内容の説明があり、5班に分かれて実施した。

講習を終えて

講師 河合 芳尚

昨夜からの雨が明け方まで強く降りましたが、集合の9時には晴れ間が覗いたため、講習時間を少し短縮して開催されました。

地図とコンパスは、登山には必須とされていますが、登山者の中には、コンパスの使い方を知らない方もいるため、この講習会は、コンパスの使い方に特化した講習内容にしています。このため、上級者や過去に講習会に参加された方には物足りないプログラムですが、初心者の方には、コンパスの使い方をマスターする良い機会だと思っています。

さて、講習内容ですが、最初に「コンパスの使い方練習シート」(豊川山岳会HPに掲載あり)を使用し、コンパスの使い方を説明しました。

辺(右辺)を目的地に合わせます。(2)リングを回し、コンパスのN(ノースマーク)を練習シートの磁北線に合わせます。(3)コンパスのNと磁針を合わせます。すると、コンパスの進行線の矢印が自分の行き先の方向になります。コンパス操作は単純ですが、講習時間は限られているので、充実した講習内容にしたいと思っています。

次に、現在位置から分かる場所を地図で確認してから、コンパスを使つて、山の中に設置してあるポストを探しました。ポストは、藪の中にも設置したため、精度の高いコンパス操作が必要です。最初は戸惑っていた参加者も次第に自信をもつてコンパス操作をしていましたように思われました。

コンパスの使い方は難しくはないのですが、使ったことがないし、ましてやコンパスの使い方を教えてくれる方も具体的には、(1)コンパスの左

いないので、今まで使わずに過ぎてきた方が多いと思います。コンパスワークに不安な方は、ぜひ一度、大高緑地公園の読図講習会にご参加いただければ幸いです。最後に、講師をしていただきました皆様にお礼を申し上げまして、講習会の報告とさせていただきます。

(豊川山岳会)

講習会に参加して

やまびこ山想会
影山伸二

読図講習会に始めて参加しました。

当日は、快晴の気持ちの良い天気で、集合場所の駐車場にて記念撮影、準備運動を行い、その後、各班の班長及びメンバの発表があり、講習はこの班毎に行うということでした。

それから公園内の平らな芝生地に移動して、講師から、三角形を利用したコンパスの使い方(コンパス1・2・3)を学び、各自で実習しました。



うなぎ錦三丁目 いば しょう
いば

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL <052> 951-1166 番
営業時間 午前 11:00~午後 2:30
午後 4:00~午後 8:00
定休日 日曜日・第二・第三月曜日

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルプス

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-10
名古屋クロスコートタワー 1F
TEL 052-565-1417

しポスト探しを行いました。
直接ポストを目指したり、迂
回したりしながら、最短時間
で確実な方法を、皆で意見を
出し合いながら行いました。

第40回自然観察会&清掃登山

意見交換や「山の歌」で親睦

11月12日(日)第40回自然観察会と清掃登山を大山市の八曾自然休養林で実施した。当日は快晴に恵まれ、8団体38名の参加があり、午前8時30分に休養林に隣接する大山キャンプ場に集合。8時40分から開会セレモニーと八曾自然休養林の概要、自然観察会と清掃登山の注意等を説明し、9時キャンプ場を出発した。ところどころ荒れた自然歩道には、登山者のゴミといふより、ビニールやペットボトルが目立ち、先頭に近い者たちの袋は見る見る一杯になつていく。

食事が一段落したあたりで全員が車座になつて意見交換を行い、「山の歌」をつぎつぎと熱唱。山を愛する者の集まりである雰囲気を十分に楽し

その後、御岳や乗鞍まで遠望できるパノラマ展望台を見て、調理担当者はキャンプ場に引き返し、他の者は八曾滝、黒平山に歩を進めた。そして山頂からの眺望を楽しんだ後、12時30分キャンプ場に帰着する。

キャンプ場では出来上がりた鍋を前にして一気に懇親ムードが盛り上がり、焼肉など各自持ち寄った一品料理に、和気あいあい楽しい中での食事となつた。

だけ山の中に入つたこの地に渓谷美あり、岩峰ありの変化にとんだ景観があることに感動の声が上がる。

にポストがあると、コンパスの使用法が正しく理解できたのだと実感しました。

次回は、実際の山登りを兼ねた読図講習会にも、積極的に参加したいと思っています。

初めての槍穂縦走

アイシン精機山岳部

印象に残った私の登山

16

はきつかつた氣がします。槍の肩でテント泊（当時は余裕でテントが張れました。）遅い時間だつたので今なら空きがなく殺生に下ろされていたでしょう。

いたような気がしています。靴は一応、アウトドア仕様の革靴でジーパン、綿のTシャツにウエスタンシャツ、他の登山者に負けないようにして一泊、体力に自信はありませんがやはり殺生からの登り

1987年秋、初めての穗高縦走、記録は取つてあるつもりではあつたが見つからず数枚の写真が見つかり記憶を頼りに綴りたいと思います。

上高地では先輩と二人観光客に混じて、新しいザックを背負い観光客の挨拶にも答えるながら、いっぱいの登山者になつたような気分で歩いて

ぞ！でした。今では渋滞や天候不順の時はバスしてしまいがちですが：キレットの通過

しいほどに最高だ、と思うのが私だけでしょうか。なかなかそのような山行が出来なくなつてきていますが。キレツトの下りのルートを眺めて行けるかどうか心配でしたたが、実際にはさほど問題なく通過した気がします。北穂高を経て涸沢へこのとき最高の紅葉を見る事ができました。ここではテントの多さに驚いた記憶があります。

CLIMBING PARK

東三河初のクライミング施設



☎ 0532-26-3737

住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎ 0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい（帰化）、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から2分の) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL : 090-4857-9130

URL : <http://www.nygs-office.com/>



車座になり「山の歌」合唱

快晴の日に恵まれ、紅葉の美しい犬山キャンプ場を起点にした自然観察会に参加しました。今日は清掃登山も兼ねており、栗木委員長から付近の地形等の説明の後、9時の出発時には各自ゴミ袋を持ち、キ

了。午後からは、今後の自然保護委員会の取り組みのお話しがあり、委員会の参加を求めて、今後の活動に役立てるよううにしたいとの意見がありました。その後、山の唄を皆で歌い2時過ぎに散会となりました。

自然観察会に参加して、秋の一日自然の中から多くを学びましたが、今後も参加して自然保護に係わっていきたい

み、自然観察会、清掃登山そして各会との親睦を深めるという目的を達成することができました。

最後は、参加者全員に次の再会を依頼し、15時に解散とした。
(栗木 洋明)

自然観察会に参加して

増田 美智子

山歩の会

の再会を依頼し、15時に解散とした。

(栗木 洋明)

ヤンブ場から岩見山を経てパノラマ展望台までゴミを拾いながらの登山です。変化に富んだ気持ちの良い巣頭洞遊歩道と五条川の上流を渡り返しながら、乙女滝までは滑らないう注意深く歩きました。

展望台は雲一つない青空に雪の被つた御嶽山、乗鞍岳が望め心地良い休憩場所でした。ここで岩倉山岳会の方々は昼食準備のため下山となり、一部の人達と一緒に捨い集めたゴミを持ち帰りました。黒平山を経由してキャンプ場に戻るグレープとは別行動になりました。

下山後の昼食は、岩倉山岳会の皆様のご奉仕で温かい食事を用意して下さり、冷えた体が暖まり和やかに親睦を深め、感謝しながらの良きひとときを過ごしました。

午後からは、今後の自然保護委員会の取り組みのお話しがあり、委員会の参加を求めて、今後の活動に役立てるよううにしたいとの意見がありました。その後、山の唄を皆で歌い2時過ぎに散会となりました。

自然観察会に参加して、秋の一日自然の中から多くを学びましたが、今後も参加して自然保護に係わっていきたい

と感じました。この日は大学生パ

ーティーが私達よりも前にいたので、彼らのトレースに助けられ順調に進むことができました。夜明け前に見た鹿島

槍ヶ岳に映るモルゲンロートは数分の出来事でしたが、とても美しく心に残つていま

す。雪山の歩行も少しずつ慣れてきて楽しいと感じてきていましたが、山頂直前で風速

15mくらいの風が吹き、突風で尻込みをしてしまいました。しかし、先輩方の話を聞き、頂いたチャンスは大切にした

いと思い参加を決めました。29日は道の駅で前夜泊し、30日より登山開始となりました。登山口駐車場はすでに車

が数台停まっており、東尾根が人気ルートであることを実感しました。取付きから急登

でしたが、2日前の入山者のトレイルがあり、天気、雪面ともに安定していたので順調に歩けました。1,740m

地点にテントを張りました

が、場所を決定するためには

歩かなければいけない事を

理解しておく必要がある

と感じました。

31日は午後から天気が崩れ

中での登頂等初めて体験する

ことができ感謝しています。

雪山でのテント生活、風の

順を理解しておく必要がある

と感じました。

雪山でのテント生活、風の順を理解しておく必要があると感じました。

～愛知岳連雪山技術講習会～ A・B コースで体験や実践訓練

3月24日(土)～25日(日)大日ヶ岳で雪山技術講習会が開催されました。参加者は受講生22人、指導員検定1人、指導員7人の30人でした。天候は24日雪のち曇り風も強く寒い日で、25日は曇りのち晴れで風がなく暖かく一日でした。

講習はAコース14人とBコース8人に分かれて行われました。Aコースの土曜日は大日ヶ岳山頂に登降する中でアイゼン歩行などの歩行技術・滑落停止を練習し、午後はビーコン捜索の方法・雪洞作りを体験しました。翌日も頂上まで登つて歩行技術・滑落停止の復習のほか埋没者の掘り出しを体験し、要救助者を梶包して搬送しながら集合場所まで下山しました。

Bコースの土曜日は雪上でのピッケル・スノーバー・土嚢袋・立木の枝を使つたアンカー造りを練習しました。午後は急斜面を利用して素早く効率的な懸垂下降・ロープ長不足を想定したカウンターラペルの下降を行いました。登攀では一本のロープを4人で結び合つて安全に素早く登るコンティニュアスタイルロ

一ピニングと2人一组で素早い
スタカットクライミングの練習を行いました。

日曜日は自己脱出までを含めたスタンディングアッスクス
ビレイとビーコン搜索・ブローピング・掘り出しまでの二連の流れを練習しました。午後は要救助者を梱包して搬送・ロープと立木を使用した

ソフトボール成年女
子と剣道成年男子が準
優勝。山岳少年女子ボ
ルタリングで三位と健
闘した。
卓球は少年男子と成
年男子が準決勝進年
バスケットボール成年
男子は四回の決勝に挑
む。

吊りおろしと、要救助者を一人で引き上げる実践訓練をしました。

閉講式で複数の指導員からは、反復練習して成長してほしいし、また講習会に参加して欲しいとのコメントがありました。

受講生・指導員共に有意義な講習会になつたと思います

が、今回の講習会では土曜日だけの参加者が14人もあって雪山での宿泊・食事造り・ビーカー体験や他の山岳会との夜の交流が出来なかつたのは残念でした。

今後も多くの方に参加してもらえる講習会になるといなあと思っています。

2人1組で競技する山岳少年のボルダリングで3位に入ったタケ選手（安城学園高）と石井選手（日進西高）。プレー歴もイルも異なる2人がタッグを組み賞を果たした。

大山史洋監督いわく「倉は体格を生かし、ダイナミックな打球が得意。石井は次のホールド(物)を着実につかんでいくタイプ」。

倉選手は11歳でユース選手権を果たし、ジュニアオリンピック勝経験もあるが近年はケガがあり、伸び悩んでいた。

倉選手、石井選手 互いに刺激、3位

山岳少年女子ボルダリング 昨年、キャリア5年で力をつけ、他県にも名前がとどろくようになつた石井選手と出会つた。「菜々子に勝つ」と公言し、めきめき力をつけていく石井選手を見て、倉選手も刺激され、プレーが安定していく。決勝では互いにルートを確認し、アドバイスを送りあつた。設定された4種の壁のうち出場選手で唯一、倉選手が三つ目の壁まで完全登頂。石井選手は「うれしかつたけど、自分が先に登りきつた」と語り、倉選手は「また来年も2人で国体に出られたら」と語つた。
(板倉陽佑)

(高木
宏)

(1) に登録することができる。
（2）常任理事会に個人会員登録を申請する。
(3) て、会員登録名簿に必要な事項を記入し、団体員とともに登録料を添えて、本会登録事務局へ提出する。
(4) 登録者は会員証を発行する。

（登録更新）
第4条 個人会員の登録更新は、団体員と同様に1年ごとに、各年度の初めに行う。附則この要項は、平成28年4月16日から施行する。

(1) 本連盟団体登録員で、以下の場合に該当する者は、次のいずれかに該当する者とする。

(2) 山岳共済保険に加入している者が、定年退職を迎えた場合、所属クラブが活動を休止した場合に該当する希望者。

(3) 本連盟団体登録員から推薦された者。

(4) 日本国山岳協会選手登録した選手。

(趣旨)
第1条 この要項は、登山の活性化を目的とする愛知県山岳連盟(以下「本連盟」と称す)および都道府県が開催する登山と競技に関する行事について、個人のため、本連盟協力できるようになるため、参加登録制度に準じて個人会員登録制度に必要な事項を定めるものである。

(目的)
第2条 個人会員登録制度の目的は、
①次のとおりとする。
②本連盟の会員の減少を抑制すること。
③指導員など各種資格を個人として本連盟でできるようになるとること。
④協力できる会員を維持すること。
⑤本連盟の会員の増加を促進すること。

愛知岳連個人会員制度

指導部登山勉強会 ～事故者の搬送法～

2月20日(火)指導部勉強会
「雪山での事故者搬送法」が
県スポーツ会館で午後7時30分から行われました。

積雪期の救助は、無雪期に比べ困難を伴うものです。もし事故が起きたら頼りになるのはまず自分たちです。も

今回は、応急手当を含む搬送法等の救助技術について、基本的な冬山登山技術や応急手当、積雪期のシート搬送の勉強をしました。

山岳レスキュー講習会(積雪期)に参加

常任理事 多田 純一

日山協主催の平成29年度山岳レスキュー講習会(積雪期)が1月26～28日の3日間、群馬県土合「山の家土合」周辺で行われ参加しました。

参加者は、クラス1に9人(雪崩対策)、クラス2に15人(セルフレスキュー)、クラス3に10人(救助隊)。

クラス3の主任講師は角田氏で、救助者からの要請により、救助隊を編成するという想定でトレーニングが行われました。初日から2日間雪が降り続

く中で講習が行われ、引き上げシステムにダブルブレーキーを使用しての1/4システムを行い、プローピングは斜面に對して垂直に刺すと指導を受けました。

クラス3の参加者は、消防4人、県警1人、岳連4人、一般1人という構成でリピーターも多くいました。

最終日に行われたシミュレーション訓練も消防、警察の人々がリーダーになつて、スマーズな訓練となり、近年では最短時間を記録したそうですが、また、救助活動ではリーダーシップとリーダーを支える隊員の能力が高いことが要求されるものだと感じたシユミレーション訓練でした。

1. 温処置
事故者は外傷やショック症状により血圧が低下していくますし、寒冷な状況下で熱を奪われます。

2. シート搬送
積雪期の搬送ではシート(テント、ツェルト、フライシート)に事故者を包んで運ぶシート搬送が一般的で、雪面をそりのよう引くことができるので有効な方法です。

3. スノーマウントの作成
などについて9時まで熱心に学びました。

4. 愛知岳連親睦スキー大会
(2/18ウイングヒルズ白鳥) 関谷

5. 高木、多田、栗木、星、高木、谷澤、木谷

6. 中平等顧問

7. 報告事項

8. 登山勉強会(2/13三河)

9. ミング協会理事長会議(2/18東京)

10. 日山協・スポーツクラブ

11. 登山勉強会(2/20県スポ)

12. 愛知岳連親睦スキー大会
(2/24大日ヶ岳) 木田

13. 安ハスカイウォン

14. 愛知県山岳マラソン(3/3)

15. 猿投山(岩瀬)

16. 岩瀬

17. 安ハスカイウォン

18. 安ハスカイウォン

19. 安ハスカイウォン

20. 安ハスカイウォン

21. 安ハスカイウォン

22. 安ハスカイウォン

23. 安ハスカイウォン

24. 安ハスカイウォン

25. 安ハスカイウォン

26. 安ハスカイウォン

27. 安ハスカイウォン

28. 安ハスカイウォン

29. 安ハスカイウォン

30. 安ハスカイウォン

31. 安ハスカイウォン

32. 安ハスカイウォン

33. 安ハスカイウォン

34. 安ハスカイウォン

35. 安ハスカイウォン

36. 安ハスカイウォン

37. 安ハスカイウォン

38. 安ハスカイウォン

39. 安ハスカイウォン

40. 安ハスカイウォン

41. 安ハスカイウォン

42. 安ハスカイウォン

43. 安ハスカイウォン

44. 安ハスカイウォン

45. 安ハスカイウォン

46. 安ハスカイウォン

47. 安ハスカイウォン

48. 安ハスカイウォン

49. 安ハスカイウォン

50. 安ハスカイウォン

51. 安ハスカイウォン

52. 安ハスカイウォン

53. 安ハスカイウォン

54. 安ハスカイウォン

55. 安ハスカイウォン

56. 安ハスカイウォン

57. 安ハスカイウォン

58. 安ハスカイウォン

59. 安ハスカイウォン

60. 安ハスカイウォン

61. 安ハスカイウォン

62. 安ハスカイウォン

63. 安ハスカイウォン

64. 安ハスカイウォン

65. 安ハスカイウォン

66. 安ハスカイウォン

67. 安ハスカイウォン

68. 安ハスカイウォン

69. 安ハスカイウォン

70. 安ハスカイウォン

71. 安ハスカイウォン

72. 安ハスカイウォン

73. 安ハスカイウォン

74. 安ハスカイウォン

75. 安ハスカイウォン

76. 安ハスカイウォン

77. 安ハスカイウォン

78. 安ハスカイウォン

79. 安ハスカイウォン

80. 安ハスカイウォン

81. 安ハスカイウォン

82. 安ハスカイウォン

83. 安ハスカイウォン

84. 安ハスカイウォン

85. 安ハスカイウォン

86. 安ハスカイウォン

87. 安ハスカイウォン

88. 安ハスカイウォン

89. 安ハスカイウォン

90. 安ハスカイウォン

91. 安ハスカイウォン

92. 安ハスカイウォン

93. 安ハスカイウォン

94. 安ハスカイウォン

95. 安ハスカイウォン

96. 安ハスカイウォン

97. 安ハスカイウォン

98. 安ハスカイウォン

99. 安ハスカイウォン

100. 安ハスカイウォン

101. 安ハスカイウォン

102. 安ハスカイウォン

103. 安ハスカイウォン

104. 安ハスカイウォン

105. 安ハスカイウォン

106. 安ハスカイウォン

107. 安ハスカイウォン

108. 安ハスカイウォン

109. 安ハスカイウォン

110. 安ハスカイウォン

111. 安ハスカイウォン

112. 安ハスカイウォン

113. 安ハスカイウォン

114. 安ハスカイウォン

115. 安ハスカイウォン

116. 安ハスカイウォン

117. 安ハスカイウォン

118. 安ハスカイウォン

119. 安ハスカイウォン

120. 安ハスカイウォン

121. 安ハスカイウォン

122. 安ハスカイウォン

123. 安ハスカイウォン

124. 安ハスカイウォン

125. 安ハスカイウォン

126. 安ハスカイウォン

127. 安ハスカイウォン

128. 安ハスカイウォン

129. 安ハスカイウォン

130. 安ハスカイウォン

131. 安ハスカイウォン

132. 安ハスカイウォン

133. 安ハスカイウォン

134. 安ハスカイウォン

135. 安ハスカイウォン

136. 安ハスカイウォン

137. 安ハスカイウォン

138. 安ハスカイウォン

139. 安ハスカイウォン

140. 安ハスカイウォン

141. 安ハスカイウォン

142. 安ハスカイウォン

143. 安ハスカイウォン

144. 安ハスカイウォン

145. 安ハスカイウォン

146. 安ハスカイウォン

147. 安ハスカイウォン

148. 安ハスカイウォン

149. 安ハスカイウォン

150. 安ハスカイウォン

151. 安ハスカイウォン

152. 安ハスカイウォン

153. 安ハスカイウォン

154. 安ハスカイウォン

155. 安ハスカイウォン

156. 安ハスカイウォン

157. 安ハスカイウォン

158. 安ハスカイウォン

159. 安ハスカイウォン

160. 安ハスカイウォン

161. 安ハスカイウォン

162. 安ハスカイウォン

163. 安ハスカイウォン

164. 安ハスカイウォン

165. 安ハスカイウォン

166. 安ハスカイウォン

167. 安ハスカイウォン

168. 安ハスカイウォン

169. 安ハスカイウォン

170. 安ハスカイウォン

171. 安ハスカイウォン

172. 安ハスカイウォン

173. 安ハスカイウォン

174. 安ハスカイウォン

175. 安ハスカイウォン

176. 安ハスカイウォン

177. 安ハスカイウォン

178. 安ハスカイウォン

179. 安ハスカイウォン

180. 安ハスカイウォン

181. 安ハスカイウォン

182. 安ハスカイウォン

183. 安ハスカイウォン

184. 安ハスカイウォン

185. 安ハスカイウォン

186. 安ハスカイウォン

187. 安ハスカイウォン

188. 安ハスカイウォン

189. 安ハスカイウォン

190. 安ハスカイウォン

191. 安ハスカイウォン

192. 安ハスカイウォン

193. 安ハスカイウォン

194. 安ハスカイウォン

195. 安ハスカイウォン

196. 安ハスカイウォン

197. 安ハスカイウォン

198. 安ハスカイウォン

199. 安ハスカイウォン

200. 安ハスカイウォン

201. 安ハスカイウォン

202. 安ハスカイウォン

203. 安ハスカイウォン

204. 安ハスカイウォン

205. 安ハスカイウォン

206. 安ハスカイウォン

207. 安ハスカイウォン

208. 安ハスカイウォン

209. 安ハスカイウォン

210. 安ハスカイウォン

211. 安ハスカイウォン

212. 安ハスカイウォン

213. 安ハスカイウォン

214. 安ハスカイウォン

215. 安ハスカイウォン